

## 新予算編成システム構築支援業務委託に係る企画提案競技 質問への回答

No	質問項目	質問内容	回答内容
1	仕様書(公募用)について	仕様書本文「1.2. 業務の背景」において、「予算編成過程の公開など」とありますが、予算編成過程の公開に関しても、本業務内で何か対応を求められていますでしょうか。	本県では既存の公開項目に加えて、審査段階ごとの査定金額や予算見積調書添付資料等を新たに公開したいと考えています。 上記公開内容について、どのようなシステムとすれば効率的に公開が可能なのか提案をいただきたいと思います。 また、現行の予算編成過程の公開プロセスの改善提案などを期待しています。
2	仕様書(公募用)について	仕様書本文「1.2. 業務の背景」の中で、貴庁においては既に予算編成過程のBPRやDXに取り組まれているものと理解しました。そうした中で今回のシステム再構築において次期システムで最も実現したいこと・やりたいことは何になりますでしょうか。記述内容から鑑みて「予算編成過程の公開」といった部分かと推察しましたが、「[DX・TXで業務・サービス・働き方を抜本的に変革し、デジタル県庁への転換を加速させる]取組として、庁内予算編成作業フローの抜本的な変革が必要」といった記述も見られ、次期システムにおいてもほかに実現したいことや現行業務における課題はありますでしょうか。	仕様書本文「1.2. 業務の背景」にも記載しましたが、現時点ではペーパーレス化などのデジタル化はできていても、デジタルによる業務の効率化までは及んでいない状況です。そのため、予算編成過程の公開も含め、新システム導入により現行の予算編成業務を改善し、効率化することを目指しています。 どのような課題があるのか、それを踏まえてどのような改善策が考えられ、どれくらいの効果が見込めるのかという点については、委託業務の中で提案していただきたいと思います。
3	仕様書(公募用)について	仕様書本文「1.5 システム更新に向けた考え方」における、「次期システムでは、現行制度の一部をシステムに概ね適合した運用に見直すことなどにより、システムのカスタマイズを極力抑えることで構築費及び維持費を削減することを目指す。」という記述は現行業務課題への対応やDXの志向(業務サイドのやりたいこと)と相反する内容となることが想定されます。そうした場合に優先する考え方としては、「システムに業務を合わせる」(業務でやりたいことがあっても一定受忍する)という理解で合っておりますでしょうか。	システムに業務を合わせることも選択肢の一つと考えていますが、実際にどういった方向性とするかについては、費用対効果等も踏まえて、業務の中で本県と受託者で議論できればと考えております。
4	仕様書(公募用)について	要件定義書は仕様書(案)に内包されるという理解で合っておりますでしょうか。また、その場合要件定義書各項目の作成期限は令和9年7月下旬という理解で合っておりますでしょうか。	要件定義については、仕様書本文中の「3.4基本計画(案)の作成」に記載しておりますとおり、基本計画の中で要件定義も含めてもらうこととしております。 そのため作成期限は、基本計画書(案)の作成期限である令和8年12月下旬となります。
5	発注に先立つ検討状況について	今回の発注に先立ち、これまでの貴庁での検討はどういった状況になりますでしょうか。また、検討成果物等はありませんでしょうか。(システム化方針といったより上流の構想等を想定)	次期システムに求められる機能と、システムで効率化できる業務を想定した段階です。検討成果物等はありません。
6	貸与物について	企画提案競技において現行システムや現行業務、貴庁ネットワーク環境等に関する参考資料は貸与いただけますでしょうか。また、契約後の履行着手時の想定貸与物についてご教示ください。	履行着手後の提供となります。 想定貸与物は、仕様書本文「2.4.2 業務システム資産の提供」に記載しているとおりです。
7	当業務委託受託に関する後続業務の制約について	当委託業務を受託した場合には、後続のシステム構築に関する受託の制約はありますでしょうか。	制約はございません。
8	再構築後の予算編成システムの利用範囲について	貴庁においては複数の地域機関が存在している認識です。各地域機関所属の職員においても再構築後のシステムを活用した予算要求を行う利用範囲に含まれますでしょうか。また、現状分析における全庁アンケート等の対象には地域機関の所属や職員も含まれますでしょうか。	本県では、全ての地域機関において、予算編成システムの利用が必要となるものではありません。 また、アンケートの範囲については、業務開始後に本県と受託者で協議しながら設定できればと考えております。